

飯田泰之さんと深める 【危機の経済学】



講師

明治大学政治経済学部准教授

飯田 泰之

Yasuyuki Iida

経済学の巨人と世界経済の未来を考える

近代経済学の父と言われているアダム・スミスが1776年に『国富論』を出版してから2020年にいたるまで、さまざまな経済学の巨人が現れました。世界大恐慌に対応したケインズ、インフレーションの克服を目指したフリードマン、近年では格差について切り込んだピケティなど、多くは経済危機を乗り越えるためにその時々の常識を疑い、価値の転換を試みました。

本講座では、巨人と言われる経済学者の思想に加え、その思想に至った時代背景を学ぶことで現代経済を紐解くヒントにし、世界経済の未来への考えを深めます。

飯田泰之

12/2金

18:30-21:30

アダム・スミスと
重商主義

1

経済学の父と称される古典派経済学者アダム・スミス。その思想はいかなる意味で先駆的だったのだろうか。古典派以前の重商主義との大きな違いは「国富」の捉え方にある。金塊や貿易黒字ではなく、国民の生活水準の向上こそが「国富」だと考えたのである。従来型の価値観からの脱却を迫られる現代において、古典派が主導した国富概念の転換とその限界について理解を深めよう。

12/23金

18:30-21:30

フリードマンと
温情主義

4

自由主義諸国の経済発展に陰りが見え始めた1970年代、先進諸国ではインフレーションの克服が課題となる。貨幣的現象と捉えられるインフレーションだが、供給能力の不足・停滞も要因であった。その中で登場した新自由主義の巨人フリードマンは、何が供給能力を停滞させていると考えたのだろうか。創造性と多様性が求められるこれからの経済に必要な発想を見出していこう。

12/9金

18:30-21:30

ケインズと
世界大恐慌

2

自由な競争市場が調和的な経済を作り出すという新古典派経済学の経済観は、「黄金の20年代」とマッチし、20世紀の主流派となる。しかし、繁栄と幸福の時代は1929年世界大恐慌と共に終焉を迎える。大不況の処方箋として提示された「有効需要の原理」を繁栄ゆえの需要不足とあくなき貨幣需要という概念から捉え直すことで、ポストコロナの世界経済の未来について考えを深めていく。

1/6金

18:30-21:30

ミンスキーと
金融資本主義

5

新自由主義的な制度改革、適切な金融政策は米国・欧州に1990年代の「素晴らしき10年」と2000年代の「大いなる安定」をもたらした。だが安定的繁栄はそれ自体が危機の源となり得る。異端の経済学者ハイマン・ミンスキーの金融不安定化仮説は、行動経済学・実験経済学の発展とリーマン・ショックを経て大いに注目されることとなった。危機の芽はどこにあるのかを探っていこう。

12/16金

18:30-21:30

石橋湛山と
金解禁論争

3

繁栄する米英に対し、1920年代の日本は戦後恐慌、関東大震災、その事後処理に端を発する昭和金融恐慌と苦難の連続であり、そこから脱出するために国際金融秩序——金本位制への復帰が主張された。グローバル経済へのより強くコミットが国民経済を発展させるという思考は正しいのか。金解禁論争における石橋湛山の議論、小日本主義のアイデアを通じて経済のグローバル化を考える。

1/13金

18:30-21:30

ピケティと
必然的格差

6

自由主義経済は初期には格差を拡大するが、人手不足と賃金高騰を通じて長期的に格差を縮小する傾向がある——長く学界の常識だったこのクズネッツ仮説に切り込んだのがトマ・ピケティである。資本主義が格差を生み出すメカニズムと、米国型・欧州型・日本型格差の特徴について概説する。なぜ所得の再分配が必要なのか、再分配により私たちは何を失うのかを議論しよう。

講座の特徴

- ・古典から直近までの経済学者の思想を通して経済学を俯瞰する
- ・経済危機を克服するために価値転換を図った経済学者の時代背景と思想を理解し、未来の経済を考える

講座の進め方

各回のテーマに沿った講義と、事前課題の共有・ディスカッションを進めます。事前課題は、設問に対して自分なりに考えをまとめ、講師からのフィードバックとクラスディスカッションで考えを深めます。

開催概要

日程	2020年 12/2、12/9、12/16、12/23、 2021年 1/6、1/13(すべて水曜日)
回数	6回
時間	18:30-21:30(3時間)
定員	25名
開催形態	オンライン対応(詳細下記参照)
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	◎経済理論・政策について深く思索し、議論したい方 ◎経済・社会思想に関わる古典をじっくりと読みこみたい方

講師プロフィール

飯田 泰之 (いいた やすゆき)

1975年生まれ、東京大学経済学部卒業、同大学大学院博士課程単位取得後、駒澤大学准教授を経て、2013年より明治大学政治経済学部准教授。この間、内閣府経済社会総合研究所客員教授研究員、財務省財務総合政策研究所客員研究員を務める。現在、内閣府規制改革推進会議委員として活躍中。

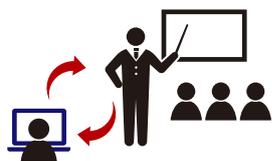
■主な著書

- 『日本史に学ぶマネーの論理』(PHP研究所)
- 『経済学講義(ちくま新書1276)』(筑摩書房)
- 『マクロ経済学の核心(光文社新書)』(光文社)
- 『歴史が教えるマネーの理論』(ダイヤモンド社)

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、下記いずれかの方法での開講を予定しております。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる際のご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

オンライン対応



丸の内キャンパス、オンライン(Zoom) いずれでも参加可能です。今後の状況によりオンライン開催のみとなる場合があります。

オンラインのみ



今後の状況にかかわらず、オンライン(Zoom)のみで開催します。丸の内キャンパスでの開催はありません。

丸の内キャンパスのみ



丸の内キャンパスのみで開催します。今後の状況によっては日程の延期または開催を中止する場合があります。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液と清浄綿の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気
- ・喫煙ルームの閉鎖

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合もございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。